

CASBEE[®]-戸建(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル:

CASBEE-戸建(新築) 2016年版

■使用評価ソフト: CASBEE-DH_NC 2016v1.0

| 1-1 建物概要 | | | 1-2 外観 | | |
|------------|--------------------|----|-------------------------|---------------------------|---------------|
| 建物名称 | 町田市相原町A1棟新築工事 | | 仕様等の確定状況 | 建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様 | 確定 仮 確定 |
| 竣工年月 | 2018年1月 | 竣工 | <備考> | | |
| 建設地 | 東京都町田市相原町205-3 | 確定 | | | |
| 用途地域 | 第一種低層住居専用地域 | | 評価の実施日 2017年12月20日 | | |
| 省エネルギー地域区分 | 6地域 | | | | |
| 構造・構法 | 木造・在来工法 | 確定 | 作成者 五光ハウジング株式会社 石山辰巳 | | |
| 階数 | 2 | | | | |
| 敷地面積 | 141 m ² | 確定 | 確認日 2017年12月22日 | | |
| 建築面積 | 55 m ² | 確定 | | | |
| 延床面積 | 109 m ² | | 確認者 | | |
| 世帯人数 | 4 | 仮 | | | |



2-1 戸建の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE ≧3.5 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★★★★★

~0%: ★★★★★ ~50%: ★★★★★ ~75%: ★★★★★ ~100%: ★★★★★ 100%超: ☆

戸建標準計算

| | |
|-----------------|------|
| ①参照値 | 100% |
| ②建築物の取組み | 83% |
| ③上記+②以外のオンサイト手法 | 49% |
| ④上記+オフサイト手法 | 49% |

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

Q2 長く使い続ける

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

LR1 エネルギーと水を大切に使う

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 4.0

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

Q1のスコア = 4.1

| | |
|----------|-----|
| 暑さ・寒さ | 4.2 |
| 健康と安全・安心 | 4.0 |
| 明るさ | 4.0 |
| 静かさ | 4.0 |

Q2 長く使い続ける

Q2のスコア = 4.0

| | |
|---------|-----|
| 長寿命に対する | 4.2 |
| 維持管理 | 4.6 |
| 機能性 | 3.0 |

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

Q3のスコア = 3.8

| | |
|----------|-----|
| まちなみ・景観 | 5.0 |
| 生物環境の | 3.0 |
| 地域の | 4.0 |
| 地域の資源の活用 | 3.0 |

LR のスコア = 4.1

LR1 エネルギーと水を大切に使う

LR1のスコア = 4.7

| | |
|------------|-----|
| 総合的な省エネ | 4.8 |
| 水の節約 | 4.5 |
| 維持管理と運用の工夫 | 4.5 |

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

LR2のスコア = 3.9

| | |
|--------------------|-----|
| 省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用 | 3.6 |
| 生産・施工段階における廃棄物削減 | 4.3 |
| リサイクルの促進 | 5.0 |

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

LR3のスコア = 3.6

| | |
|----------|-----|
| 地球温暖化 | 5.0 |
| 地域環境への配慮 | 3.5 |
| 周辺環境への | 2.5 |

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|---|---|---|
| 総合 | 居住者が建物を長期間利用できるよう、耐久性や維持管理容易さ、快適な住環境を目指した。また、住宅で使用するエネルギーを太陽光発電とエネファームにて賄い、蓄電池やHEMSにて効率的に利用することにより、住宅が使用する一次エネルギーの消費削減など、環境に与える負荷が小さい建物である。 | |
| Q1 室内環境を快適・健康・安心にする | Q2 長く使い続ける | Q3 まちなみ・生態系を豊かにする |
| 自然採光、通風等も考慮しており、優れた断熱性、適切な冷暖房設備で快適な室内環境を保てる。 | 耐震等級3、劣化等級3等、長期間の仕様に耐えられる材料や仕様を採用する。維持管理などにメンテナンスの容易さ、維持管理が可能な情報提供を用意している。 | 敷地内の緑化に取り組み、街並みに配慮した生垣を採用した。 |
| LR1 エネルギーと水を大切に使う | LR2 資源を大切に使いゴミを減らす | LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する |
| 高い断熱性能で、冷暖房エネルギーを抑えており、水栓等を節水タイプを採用し節水に努めた。また、太陽光発電とエネファームで創エネルギー図っている。 | 構造材のプレキャスト納材等で、産廃物の削減している。また、リサイクル材、再生可能材の積極的な採用を図っている。 | 浸透樹の採用によるインフラ負荷の低減や、敷地内の緑化を図り環境への負荷を軽減に努めている。 |